

■ 開設年度		■ 開講部局	
2020		共通教育	
■ 科目名			
陽明学入門			
■ 英語科目名			
An Introduction to the Teachings of Wang Yang-ming			
■ 前後期	■ 開講区分	■ 科目形態	■ 単位数
後期	毎週	講義	2
■ (2 8 年度以降入学生) 中分類		■ (2 8 年度以降入学生) 小分類	
教養教育科目(教養基礎科目)		人文社会科学分野 (選択科目)	
■ (2 5 年度以降入学生) 中分類		■ (2 5 年度以降入学生) 小分類	
b. 知力：人文・社会科学		9. 歴史・地理を学ぶ	
■ (2 4 年度以前入学生) 大区分		■ (2 4 年度以前入学生) 中区分	
教養科目		分野1	
■ 受講学部学科			
全			
■ 担当教員		■ 担当教員所属	
吉田健一		稲盛アカデミー	
■ 連絡先 (TEL)		■ 連絡先 (MAIL)	
099-285-3753		k5621643@kadai.jp	
■ オフィスアワー (授業時間外の対応)			
随時可 (但し、事前にメールによる連絡をください)			
■ 共同担当教員			
■ アクティブ・ラーニング			
5. 学習の振り返り；			
■ アクティブ・ラーニング (「その他」 の内容)			
■ アクティブ・ラーニング (授業回数)			
15回中10回			
■ 理念 重要視する教育目標			
5 . 倫理 1) 社会生活の基盤となる倫理について、考えを述べられる			
■ 理念 教育目標			
6 . 実践 1) 状況に応じた方法で必要な行動ができる			
■ 理念 教育目標			
7 . 他者との協働 1) 自身の責任や立場を理解し、自覚的に行動できる			
■ 理念 教育目標			
1 . 自己理解 1) 自身の関心・能力・価値観を踏まえて行動できる			
■ 授業概要 (目的・内容・方法)			
『伝習録』に見られる王陽明の言葉により忠実にあたり、陽明学の本質を掴む。儒学の歴史について概観した後、宋の朱熹と陸象山にみる「心」に対する考え方の違いを確認し、王陽明の思想をみて行く。			
今日、「陽明学」と呼ばれる新儒学の思想体系は王陽明の思想を指すが、一番肝心なのは、王陽明が人間の「心」というものをどう捉えていたかである。陽明学はしばしば、「革命の哲学」や「反逆の哲学」、「行動の哲学」という解釈がなされるが、それは正しくない。陽明学は社会思想でもなければ、革命哲学、行動の哲学でもない。ましてや支配者の論理 (帝王学) でもなければ、逆に労働者解放の論理でもない。			
しかし、陽明学が、社会思想、革命哲学、行動の哲学と (日本で) 誤解されてきたことにもそれ相応の理由があり、心の学 (心学) でありながらも、社会や政治に直接的影響を与えて来たことも確かなことである。そして、その影響の与え方は多岐に渡り、誤解・浅解のどれもがそれなりの理由に基づく。			
本講義ではその理由は何であるかを真剣に考えたい。そして、世間に広まっている「俗流陽明学」と一線を画し、王陽明『伝習録』から直接、陽明学の真髄を共に学びたい。			
■ 学習目標			
1 . 授業の目的は、『伝習録』に見られる王陽明の言葉により忠実にあたり、陽明学の本質を掴むことである。			

今日、「陽明学」と呼ばれる新儒学の思想体系は王陽明の思想を指すが、一番肝心なのは、王陽明が人間の「心」というものをどう捉えていたかである。陽明学はしばしば、「革命の哲学」や「反逆の哲学」、「行動の哲学」という解釈がなされるが、それは正しくない。陽明学は社会思想でもなければ、革命哲学、行動の哲学でもない。ましてや支配者の論理（帝王学）でもなければ、逆に労働者解放の論理でもない。このことを正確に理解すること。

2. 授業の内容は、儒学の歴史について概観した後、宋の朱熹と陸象山にみる「心」に対する考え方の違いを確認し、王陽明の思想をみて行く。まず朱子学について解説し、その後に、王陽明の生涯を解説し、陽明学の主要概念を解説する。その際、朱子学との違いを意識しつつ、儒学全体の中での陽明学の位置づけを解説する。

3. 授業の方法はテキストに従って、解説して行く。随時、フィードバックシートによる受講生の意見も紹介する。

■ 授業計画・試験の有無（16回〔初修語は31回〕に分け、回数、授業内容、自学自習等）

- 1: はじめに - 陽明学とは何か？—講義の狙い—
- 2: 儒学の歴史1
- 3: 儒学の歴史2
- 4: 朱熹と陸象山—心即理と性即理—
- 5: 王陽明の人生・人となり
- 6: 格物(カブツ)
- 7: 良知(リョウチ)
- 8: 良知 - 2
- 9: 心即理(シンソクリ)
- 10: 天理・人欲(テンリ・ジンヨク)
- 11: 知行合一(チウコウイツ)
- 12: 事上磨練(ジジョウマレン)
- 13: 万物一体の仁(バンブツイツタイジン)
- 14: 拔本塞源論(ハツポソクゲンロン)
- 15: 王陽明亡き後の「陽明学」—王龍溪・王心斎・李卓吾—
- 16: 期末レポート

■ 授業外学習(予習・復習)

予習：配布テキストの次回の講義の部分を一読してこること。

復習：授業で学んだ内容を振り返り（配布資料を読み返し）、感想をA4、1枚のフィードバックシートにまとめて、1週間以内に提出すること。

■ 受講要件

基礎知識は一切不要であるが、休みなく出席し真剣に受講する意志を有するもの。

■ 成績の評価基準

毎回のフィードバックシートの提出（50%）、期末レポート（50%）。

■ 教科書

受講者には最初にテキストを配布する。
『陽明学入門』（吉田健一・鹿児島学術文化出版・非売品）

■ 参考書

『伝習録』王陽明・溝口雄二訳・中公クラシックス・2005年、『伝習録—「陽明学の真髄」—』吉田公平・タチバナ教養文庫・平成7年、『朱子学と陽明学』島田虔次 岩波新書 1967年、『林良斎—シリーズ陽明学27—』松崎賜・明德出版社・平成11年、『山田方谷—シリーズ陽明学28—』山田琢・明德出版社・平成13年、『東澤渦—シリーズ陽明学35—』野口善敬・明德出版社・平成6年、『池田草庵—シリーズ陽明学30—』望月高明・明德出版社・平成13年 他

■ 地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）

■ 地域志向科目の区分（平成28年度以降入学生用）

■ 実務経験のある教員による実践的授業

■ その他

授業計画（講義日程）は変更になる可能性あり。